



ドクターTのひとりごと その67

目的と目標の違い

「目標」は「目的」を達成するための道筋を示すものである。組織のリーダーは目的を明確に掲げ、部下に具体的な目標を指示しなければならない。目的は「活気あるまちづくり」といった概念的なものであってもいいが、目標は目的を達成するための具体的な手段や方法について、また、成果についても数値目標を示すことが重要である。目的はできるだけ少なく概念的にまとめる一方で、目標は多くても構わない。目的を達成するために解決すべき課題が目標設定の核となり、基本的にはリーダーが目標を設定すべきであるが、部下が目標を設定することもありうる。部下の能力や目的の内容によってはより良い目標が策定されることも期待できる。素晴らしい目標を立て短時間で目的に向かう方法もあれば、細かい目標をいくつも設定し、地道に解決する方法もある。一つの目標で複数の目的を達成する事は困難であり、また、一つの目標を達成しても目的に近づかない場合もありえるので、ときには複数の目標を掲げて解決していくことも必要である。大きな目的を達成するには、進む方向を見極めて、目標を常に更新する事も必要である。大きな目標に向かい困難に直面しても、目的を見失う事がなく、別のアプローチを試みる事で達成できる。このような思いで仕事をしている。



図書館だより

今月のおすすめ本

受け継がれる住まい 住総研「受け継がれる住まい」調査研究委員会（編）

古き良きわが家、文化的な日本の暮らしを大切に、住み継ぐための9例を紹介。できる限り維持し、維持できなければ他者に譲る。あるいは機能変換して使うという「キープ・アンド・チェンジ」を提案。古い住宅に新しい価値観をプラスし、住み継ぐヒントを伝授します。



(西)

遺訓 佐藤 賢一

明治9年、西郷隆盛の身を案じる旧庄内藩の家老たちから、彼の警護を命じられたのは、沖田総司の甥・芳次郎。卓越した剣の腕をふるい、死闘を繰り広げる青年剣士の成長と挫折を描き、西郷が遺した「遺訓」とは何かを問いかける長編時代小説。



(東)

▶詳しくは、東図書館 (☎ 62・0190)
西図書館 (☎ 75・5406) へ。

私たちがもてる「ユニバーサルデザイン」

文化や言語、国籍、老若男女といった違い、障害の有無に関わらず、全ての人々が利用しやすいように物（製品）や施設、環境、情報などを企画することをユニバーサルデザインといいます。後から手を加えるバリアフリーとは違い、全ての人を対象にしているのが特徴です。

例えば身近なものに、シャンプー容器につけられたギザギザ状のきざみがあります。30年ほど前「目が不自由なので容器に工夫してほしい」「髪を洗うとき、目を閉じていても区別がつくようにしてほしい」という要望が、メーカーの消費者相談窓口に寄せられるようになりました。

このような意見をもとに行った視覚障害者への調査で、視覚障害者が「点字を刻印したテープを貼る」「ボトルの一方に輪ゴムを巻く」「同じ形の容器を使わない」「容器の置き場所を変えない」など、さまざまな工夫と努力をしていることが分かりました。そこで消費者の意見や調査結果をもとにメーカーは「触って分かる」識別方法を研究し、誕生したのが「きざみ入り容器」です。きざみは、触ただけでシャンプーとリンスを区別できるように付けられています。

今では、自動ドアやセンサー式蛇口、ピクトグラム（絵文字）など、さまざまな場面でユニバーサルデザインが生かされ「より多くの人にとって」「より使いやすい」「よりよく暮らす」ことができるようになってきました。

製品や施設、環境を変えていくことは、多くの時間や資金が必要で、一個人には困難なことです。しかし、



私たちにもできるユニバーサルデザインがあるのではないのでしょうか。例えば目の前に困っている人がいたらどうしますか。見て見ぬふりをしますか、それとも「どうされましたか」「何かお手伝いできることはありますか」といった声をかけますか。初めて出会った人に声をかけることは勇気のいることですが、それは、あなたの「やさしさや思いやり」の心の表れと言えるのではないのでしょうか。

やさしい社会を実現するためには、一人ひとりが助け合い、支え合うやさしさと思いやりの心が必要不可欠です。相手のことを思う「心遣いや気配り」は、私たちがいつでもどこでもできるユニバーサルデザインなのです。

《人権啓発推進室》

未来への新たな一歩 ～舞鶴引揚記念館開館30周年～

引揚記念館は今年開館30周年を迎えます。歴史を振り返るとともに、次世代へ語り継ぐ取り組みを紹介します。

平和の願いを未来へ発信する オンリーワン施設へ

平成3年ごろになると年間20万人の来館者があり、平成6年には手狭になった展示室の増築やその後の絵画収蔵庫の建設など施設も充実してきました。しかし、時代の経過とともに体験者の高齢化も進み、平成20年ごろになるとピーク時から来館者数は半減。

史実の継承と平和への熱い思いを結集して建設された引揚記念館が今後どうあるべきか、平成22年には有識者や体験者などによる「引揚記念館あり方検討委員会」を設置し、広く意見を求めた結果、平成24年4月に、館の運営を文化事業団から市の直営化に変更しました。

委員の一人である東京女子大教授の黒沢文貴さんは「委員会では、平和を語り継ぐ貴重な施設として、創造的な事業を展開するために市が積極的に運営に関わる直営化を提言した。指定管理者制度からの変更は全国

的にも珍しく、市の決断が新たな充実発展のスタートとなった」と述べられています。

直営後以降は、新たな創造的事業を展開。平成27年に引揚記念館収蔵資料のユネスコ世界記憶遺産への登録をまちぐるみで達成し、国内外の注目もさらに高まっています。また、開館当初、約2,400点だった収蔵資料は16,000点に増加。来館者のほとんどは戦争を知らない世代となった時代の変化に対応した機能強化にも取り組んでいます。平成27年には、若い世代にも理解しやすくするために、展示室の全面改修などを実施し、6万人台まで減少した年間来館者数も約13万人に増加。現在は、2期整備として、理解共感を深める抑留生活体験室や企画絵画展示室などを整備中で、30周年の開館記念日を迎える4月24日にグランドオープンします。

多くの支援をいただきながら5年かけて新しくなった引揚記念館へ、ぜひ足を運んでください。

《引揚記念館》



佐波賀だいこんは身が硬めで、形が崩れにくく、お米を入れて湯がくことで苦味が抜け、甘味が増します。煮干しも舞鶴産にこだわりおでんに風味を加えます。煮干しの風味が損なわれないよう、牛筋や練り辛子は使いません。だしを生かしたオーソドックスなおでんです。普通のだいこんでもゆでたり煮る時間を減らせば作れます。残っただしは締めとして「だし茶漬け」もお勧めです。【協力】谷口久美子（食生活指導士）

- 材料 4人分
- ◆佐波賀だいこん …400g
 - ◆米…10g
 - ◆結び糸コンニャク…8個
 - ◆ゆで卵…4個
 - ◆平天…4枚
 - ◆ゴボウ天…4本
 - ◆豆腐天…8個
 - ◆煮干し…100g
 - ◆だいこん葉の千切り…少々
 - ◆水…1,200cc
 - ◆薄口醤油…40cc
 - ◆砂糖…大さじ3
 - ◆酒・みりん…各40cc



1人分 306kcal 塩分3.2g

作り方

- ①佐波賀だいこんは2cm厚みの輪切りにして皮をむき、片面に7cm深さの隠し包丁を十字に入れる。鍋にだいこんがかぶる程度の水と米を入れ、強火～中火で竹串がなめらかに刺さる程度まで約20分ゆで、サッと洗って水分を切る。結び糸コンニャクも湯がいておく。煮干しは頭とはらわたを取り除き、袋に入れておく。
- ②鍋に煮干し、Aの調味料を入れ、①のだいこん、結び糸コンニャク、ゆで卵を入れ、ふたをして強火にかけ、沸騰したら中火で20分程度煮る。平天、ゴボウ天、豆腐天を加え、再びふたをして、約10分煮て味を含ませる。
- ③②を器に盛り、だいこん葉の千切りを飾る。